

老人看護専門看護師の役割と活動紹介

高橋淳子（2013年認定）

老人看護専門看護師は、何ができるナース？

老人看護は、主疾患に対する看護に加え、加齢変化に応じた看護、治療選択に関する意思決定支援、退院後の療養環境整備、終末期の看護、家族支援など多岐にわたり、多くの支援が求められます。

また、当院の特徴である救急医療および高度専門医療を担う病院における老人看護は、入院に伴う合併症を予防し、早期に病状の回復または安定を図るとともに入院前の生活機能を維持させることが、最も重要な支援だと考えています。

老人専門看護師の活動は、実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究といった6つの役割を組み合わせ、看護を基盤としながら、病院組織の高齢者に対するケアシステムを構築するという特徴があります。さらに、地域においても、高齢者やその家族へのよりよい支援のあり方を発信していく役割を担います。

院内での活動

- ◆ 慢性疾患をもつ高齢者の疾患に対するセルフケア能力をアセスメントし、療養環境（自宅、介護施設）における支援体制の整備に取り組んでいます。
- ◆ がん終末期の高齢者や認知症をもつ高齢者への直接的ケアおよび看護に関するコンサルテーションを行っています。
- ◆ 院内・院外の看護スタッフを対象に疾患に応じた高齢者看護の研修会を行っています。